



撮影

衆院予算委員会で社民党の辻元清美氏（左端）の質問を聞く小泉首相（右端）＝8日午後、荒井聡

「今日はヒートアップせずに冷静に議論したい」。秘書給与詐取事件で辞職し、昨年の総選挙で返り咲いた社民党の辻元清美氏が8日、衆院予算委員会ですら約4年ぶりに質問に立った。「総理！総理！」の連呼や「疑惑の総合商社」といった言葉での追及ぶりが持ち味だったが、この日はテーマ

「きょうは冷静に…」 辻元氏とソーリ 4年ぶり“対決”

を小泉首相の靖国神社参拝に絞め、「心の問題」について静かにやりとりを重ねた。

辻元氏は、「異なる歴史観や価値観は心の問題。心のぶつかり合いにいかにか折り合いをつけていくかが政治の役割だ。

靖国参拝は首相個人の心の問題では片づけられない国際問題に発展している」と問いかけた。

首相は「一年に一度くらい二度と戦争をしちゃいかん」という気持ちを持

って参拝するのがなぜいけないのか。私には分からない」と持論を展開。さらに「辻元さん」と呼

びかけて、「日本人の心の問題を考えたことはいなか。日本の首相だとして人間。心は自由だ」と反論した。

議論はすれ違いのままだったが、辻元氏は「これからも淡々とやっていきたい」。一方で、「与党が多数になって国会に活気がなくなった」と物足りない表情も見せた。